

## 麻生区区民会議 第2回企画部会

(議事要旨)

1. 日 時 平成20年12月1日(月)午後2時から午後3時40分まで
2. 場 所 麻生区役所第4会議室
3. 出席者 天野委員、伊藤委員、神本委員、谷川委員、西谷委員、根占委員、守田委員、  
渡邊委員  
(事務局)荻原企画課長、宮田主査、重森主査、高橋職員
4. 傍聴者 0人

### [部会長進行]

#### 1 第2期調査審議課題について

##### (1) 地域交流部会の検討経過について

根占部会長より、第1回、第2回地域交流部会の審議結果、保育園でのエコバック作りの活動について報告があった。

##### 主な意見

##### (デッキ上の水系設備について)

- ・ 水路や池が目立っていない。周囲の樹帯を整備するなど何か工夫し、市民憩いの場にできないか。
- ・ デッキ上の水系設備は「多摩川」をイメージしている。説明プレートを設置する等もっとPRした方がいいのではないか。

##### (アートパークスについて)

- ・ アートパークスを活用して絵画や彫刻の展示会等何かイベントを開催することはできないか。
- ・ アートパークス横のモニュメントに説明プレートを設置してはどうか。

##### (2) 環境部会の検討経過について

伊藤部会長より、第1回、第2回環境部会の審議結果について報告があった。

##### 主な意見

##### (地産地消について)

- ・ フードマイレージが話題になっている。モデル実施するなど、麻生区が率先してフードマイレージに取り組むことはできないか。
- ・ 学校給食で出た残飯を堆肥化し、その堆肥を学校農園の野菜づくりに使い、収穫した野菜は学校給食の食材にしている学校がある。

##### (環境家計簿について)

- ・ 環境家計簿にも様々あり、それぞれに個性的である。取組の狙いを明確にする必要がある。
- ・ 企業では取り組んでいるところも多いが、一般家庭までは普及していない。
- ・ 家電とコンセントの間に設置することで消費電力が標示される器具(エコワット)がある。分かりやすいもので区民への普及が図れると良い。
- ・ 地域交流部会のエコバック作りは、学生の参加によって成功した。同様に、学生と連携し、主婦層などへの普及を図ることはできないか。
- ・ 低電力消費の家電に買い替えする際、購入代金を一部助成する代わりに購入後に軽減された電気代を助成した団体へ払い込むしくみ(エスコ事業)がある。

(エコバックについて)

- ・ レジ袋使用の削減が主な目的であったと記憶している。エコバック「普及啓発」は目的達成のための手段の一つではあるが目的ではなかったと思う。

## 2 第3回区民会議について

### (1) 地域交流部会の検討経過報告および意見交換について

根占部会長より第1回、第2回地域交流部会の検討経過を報告した後、意見交換することとした。

### (2) 環境部会の検討経過報告および意見交換について

伊藤部会長より第1回、第2回環境部会の検討経過を報告した後、意見交換することとした。

### (3) 区民会議ニュース原稿作成者について

原稿作成者は伊藤委員であることを確認した。

## 3 区民会議交流会について

交流会の参加費を3,000円とし、当日の役割分担は次のとおりとした。

司会進行「守田委員」、会費受付「天野委員」「根占委員」、領収書発行「伊藤委員」

## 4 今後の日程について

次のとおりとした。

第4回区民会議 3月17日(火)午後3時 第1会議室

第3回企画部会 3月5日(木)午後2時 第3会議室

## 5 その他

### 区民会議フォーラムについて

企画部会長より、今期の区民会議フォーラムについて次のような提案があり、第3回区民会議で諮ることを確認した。

- ・ 第1期は任期の最後に1回開催した。今期は2回開催したい。第1回は、区民会議を知ってもらうことを目的として、地域に区民会議委員が出向く形式(出前形式)で行う。
- ・ 区内を3つのエリアに分け、企画部会委員が中心となってそれぞれのエリアでフォーラムを開催する。
- ・ 日程は2月21日(土)、2月28日(土)、3月1日(日)のうち2日間を予定。
- ・ フォーラム実行委員会を立ち上げる。企画部会委員は全員が実行委員となる。
- ・ 第1回フォーラム実行委員会は、2月24日(水)13時半からを予定し、区民会議で承認を受けてから決定する。

### 主な意見

- ・ フォーラム開催のために人を集めるのではなく、毎月開催されている町会の集まりで15分程度の時間をもらい説明する方法もある。
- ・ 「区民会議とは、」を周知しやすいようハンドブックを作成してはどうか。
- ・ 呼ばれたらすぐに出向けるようなフットワークの軽い区民会議を目指そう。
- ・ この地域にはこのテーマ、というように、地域の特性を押さえた資料作成の必要がある。